

軽音楽部マガジン



第6回 高等学校軽音楽コンテスト 関東大会より



VOL.

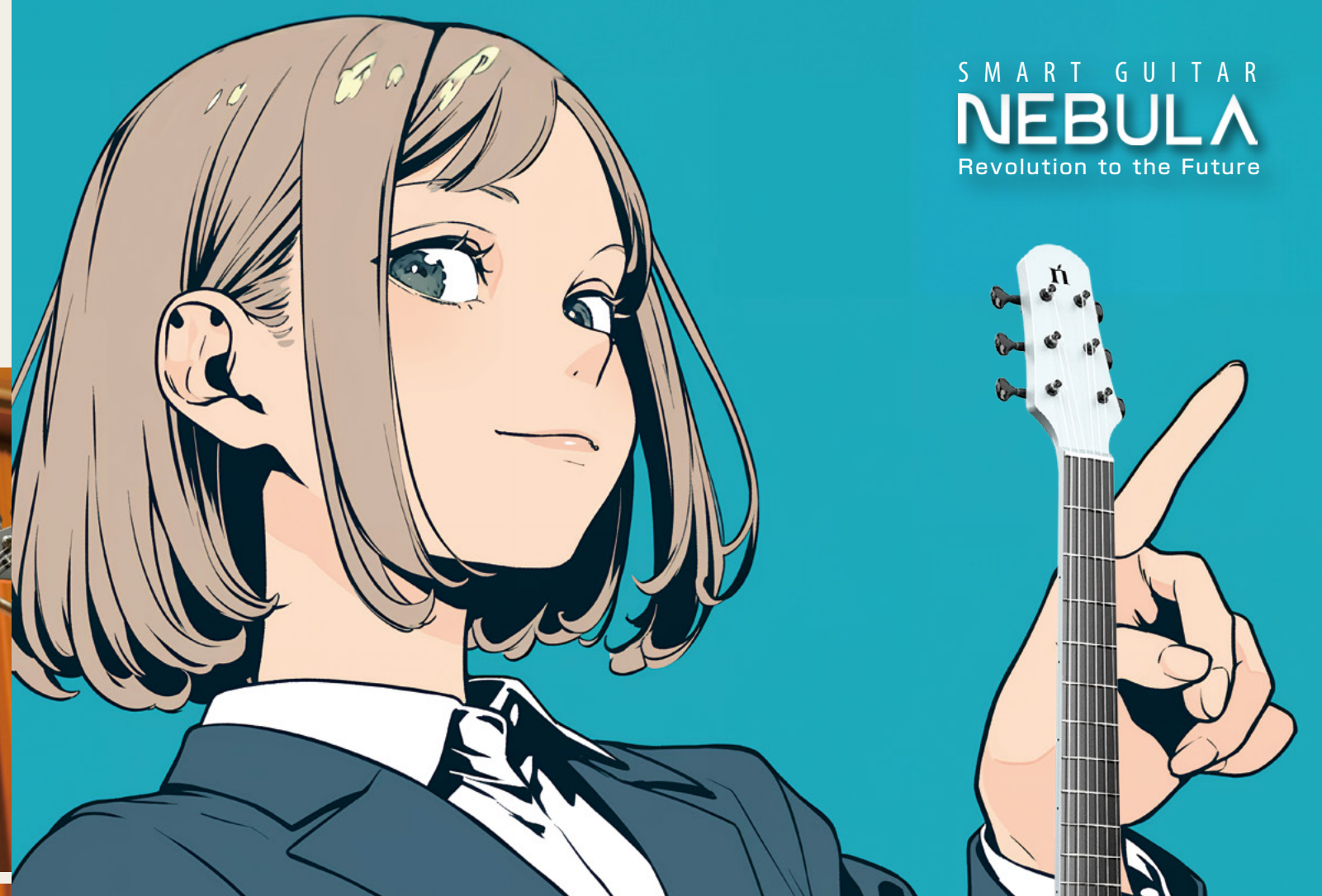
85

2025.05



軽音楽部マガジン
バックナンバー

軽音楽コンテストの評価方法を考える
学校部活動の機能と指導の在り方
部活動で学んだことが社会で生きる軽音楽部
モニター環境の充実に予算を注ぐべき理由

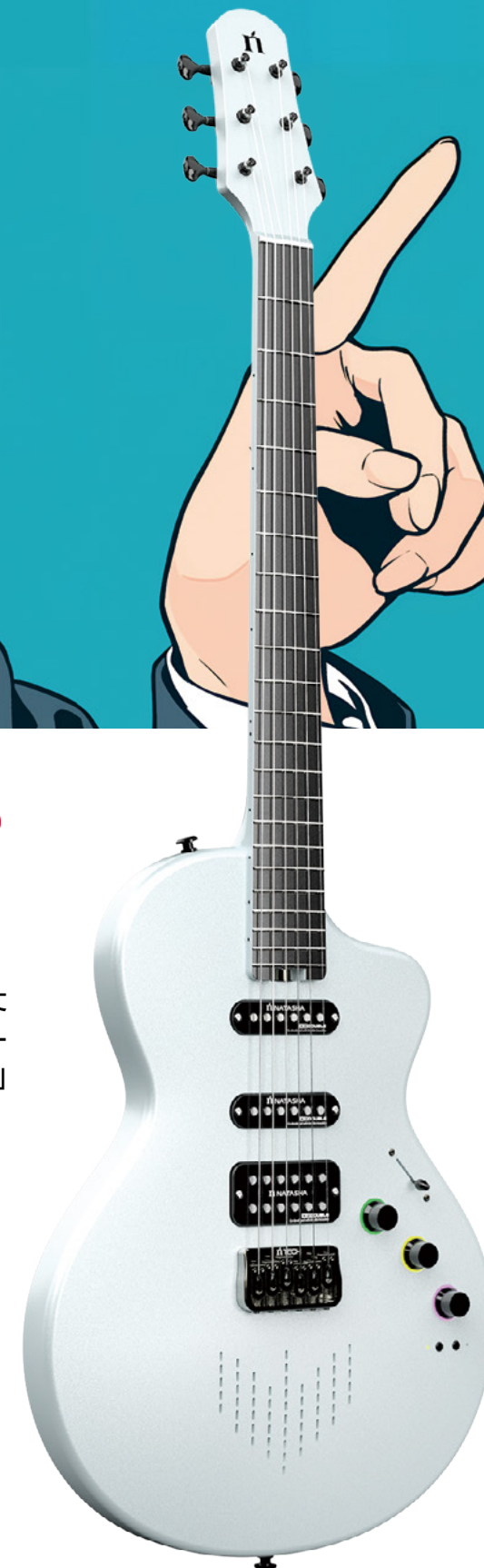


SMART GUITAR
NEBULA
Revolution to the Future

ヘッドフォンで演奏が楽しめる 軽音楽部にマッチしたギター

アンプへの接続はもちろん、ヘッドフォン端子やスピーカーを内蔵。軽くて丈夫なカーボンファイバーを本体に採用し、多彩な音作りを実現するエフェクターやチューナー、メトロノーム、ルーパーを搭載。いつでもどこでも「弾きたい!」と思った瞬間に演奏できる、軽音楽部にマッチした SMART なギターです。

-  スピーカー搭載で、面倒な準備をスキップ
-  ヘッドフォンをつなげば、夜間の演奏も◎
-  豊富なエフェクト群を自由にカスタマイズ
-  演奏をサポートしてくれる様々な便利機能
-  USB Type-C 対応でギターの録音が身近に
-  高温多湿に強く、軽量のカーボン材を使用
-  丈夫で使いやすい高機能なギグバッグ付属



定価：77,000 円（税込）
高機能ギグバッグ付属



nebulaguitar.jp

全国約4,800校の 高校に軽音楽部を！

※現在、軽音楽部があるのは**2,042校**です（令和7年4月1日当協会調べ）

軽音楽部の諸活動を通して若者の成長を応援しています

1 軽音楽部の正しい理解を

軽音楽部は部活動としての歴史が浅く、ポピュラーミュージックやバンドへの偏見も一部に残っており、正しく理解されていないのが実状です。STEAM 教育の一端として、軽音楽を通じた部活動の有意義さや得られるものなどを学校内外へ広めていきます。

2 軽音楽部の全国普及に向けて

学校教育の一環である部活動のひとつとして、軽音楽部が全国の学校に設立されることを目指し、日々の練習や演奏会のサポート、楽器や機材の相談、各種クリニックや大会の開催など、諸活動をバックアップしていきます。

3 新しい活動の提案と支援

デジタル化、IoT 化による現代的な楽器や機材、DTM の普及による新しい軽音楽のスタイルなど、今と未来に見合った活動を各業界とのパイプ役として軽音楽部に提案、支援しつつ、軽音楽のポップカルチャーとしての発展を目指します。

当協会の理念や活動内容にご賛同いただける方々のご寄付をお待ちしております
詳しくはこちらまで…



特別賛助会員の皆様（敬称略／順不同）

株式会社ミュージックネットワーク	ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団	フェンダーミュージック株式会社
一般社団法人サトヤマカイギ	有限会社エムエージー
名古屋芸術大学	株式会社トップトラベルサービス
宝塚大学	株式会社福々家（モアリゾート、ホテル寺尾温泉）
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校	有限会社ユイネ（音楽ロッジ ゆうげん荘）
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社オーティーズ
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社サウンドハウス
専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社池部楽器店
名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校	

特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会
keionkyo.org



全国学校軽音楽部協会

軽音楽部マガジン

令和 7 年 5 月号 VOL.85

■軽音楽部マガジン VOL.85 ■創刊：平成 25 年 12 月 18 日（水）■第 14 巻 5 号通巻 85 号
■監修・発行／特定非営利活動法人（NPO 法人）全国学校軽音楽部協会 JASLMC（Japan Association of School Light Music Club）
〒224-0003 横浜市中区中川中央 1-37-6-405 TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900 E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集／株式会社ミュージックネットワーク

部活動を考える	軽音楽コンテストの評価方法を考える.....4 特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 副理事長 辻 伸介
教育学からの視座	学校部活動の機能と指導の在り方.....6 日本部活動学会 理事／中京大学ほか 非常勤講師 玉木博章
軽音楽部の可能性	部活動で学んだことが社会で生きる軽音楽部.....8 特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 副理事長 辻 伸介
明日の軽音楽部へ提言	モニター環境の充実に予算を注ぐべき理由.....10 ヘッドフォンで演奏が楽しめる軽音楽部にマッチしたギター【前編】.....14 軽音協ニュース.....18

音楽／エンタメ業界の仕事 2025

サウンドクリエイター 日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校.....20
芸能マネージャー 専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー.....22

From Chief-In-Editor

次代はデジタル、そして、共創の音楽へ

押し寄せるデジタルの波は私たちの音楽の風景を一変させました。瞬時に情報が交錯し、創造のツールは手のひらに集約される。軽音楽の世界もまた、この変革の潮流を乗り越え、新たな音の地平を切り拓く好機を迎えています。DAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）は特別なものではなく、指先で無限の音色を操り、頭の中の旋律を鮮やかに描き出す強力なツールです。タブレットは楽譜に代わり、瞬時の情報共有と遠隔セッションを可能にします。ステージの演出さえ、デジタル技術によって想像を超える表現力を獲得する時代。私たちは、この変革を傍観するのではなく、創造性を増幅させるエンジンとして、積極的に活用すべきです。

この夏も、関東、中部、関西で軽音楽コンテストを開催します。若き才能たちが集い、情熱を音で交わす祭典です。単なる優劣を決める場ではなく、日々の練習の成果を舞台で披露し、お互いの音楽に触発される交流の場。目標に向かい、困難を乗り越える中で磨かれる演奏技術はもちろん、共に音楽を創り上げる仲間との固い絆は、これからの人生において、かけがえのない財産となるでしょう。そして、何よりも大切にしたいのは楽器

を奏でる際の鼓動や仲間と音を重ねる共鳴、聴衆の前で演奏する際の感動という、音楽そのものが持つ根源的な力です。デジタル技術は表現の可能性を広げる素晴らしい手段ですが、同時に集団で創造的な活動を行う中で育まれるコミュニケーションやチームワークこそ、バンド活動の真髄だと考えます。アナログの温もりとデジタルの革新性。この2つが融合することで、軽音楽部の活動は生徒たちの創造性を刺激し、コミュニケーション能力とチームワークを磨き、社会で活躍するための実践的な学びの場へと進化するはずです。

この夏のコンテストが参加するすべての若者にとって、勝ち負けだけではない、挑戦することへの価値を感じる機会となることを願っています。自信がない、まだ弱いと感じている人も、臆することなく一歩を踏み出して欲しい。音楽を仲間と分かち合う中で殻を破り、新たな自分と出会う。そんな経験をこのステージで掴んで欲しいと願っています。

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長 三谷佳之

部活動を考える

軽音楽コンテストの 評価方法を考える

辻 伸介

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
副理事長

辻 伸介

NPO法人全国学校軽音楽部協会副理事長。ドラマー。アーティストのサポート、ディレクター、インストラクターとしての活動の他、元音楽専門学校主任講師及び学科長を歴任。著書に「Drum Book」「マンガでわかる！ロックな楽典」。

令和7年3月、恒例となっている当協会主催の高等学校軽音楽コンテスト3大会が開催されました。エントリーいただいた学校、バンドの皆さんにあらためて御礼申し上げます。どの大会も回を追うごとにレベルが上がり、軽音楽部全体の成長と発展を感じることができました。しかし、そうしなければならぬ大会時の審査方式や順位付けに疑問符がついてきます。部活動である軽音楽部の大会に最も有効な評価方法とはどんなものなのか。千思万考の思いを綴ります。

春の3大会が無事に開催

3月25日に国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールで行われた「第6回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会」、3月29日に宇治市文化センター大ホールで行われた「第9回 高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会」、そして3月30日に名古屋文理大学文化フォーラム中ホールで行われた「第11回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会」の春の3大会で、最も強く感じたのは、やはり全体的にレベルが高かったことです。それも、単に歌や楽器演奏の技術が高かったというだけでなく、当協会主催大会の大きな審査ポイントでもある「合奏力」の高いバンドが多かった、というのが素直な感想です。合奏力とは、音楽的な部分の総合力でもありますが、何よりも「全員で音楽を奏る」気持ちが必要です。それは、音楽を演奏する上で大切なことであり、部活動から学んで欲しいことの1つでもあります。

また、今大会ではオリジナル曲のクオリティの向上も感じました。楽曲制作に関しては地域によって温度差がありますが、創作活動することは文化部の特徴であり、複数人のチームでゼロから完成まで仕上げていく作業は、軽音楽部の大きな特色です。大会が完成を目指す良い目標になっているのであれば、部活動活

性化にとって意味もあります。

大会は他者評価で相対評価

当協会の理事長である三谷佳之は、すべての大会で開会にあたり「コンテストなので演奏後には順位がつきますが、本当の勝負は自分たちのやりたかったことが発揮できたかどうかです。自己採点、自己評価をしましょう」と、趣旨を伝えました。評価の種類には「自己評価」と「他者評価」があり、成長にはどちらも大切な要素です。大会の審査は他者評価であり、順位がつくので「相対評価」になります。音楽に点数や順位をつけるのは難しいことですが、部活動の大会であることに、さらなる難しさが生まれてきます。

文化・芸術の部活動に他者評価や相対評価は必要か、と問われれば、大会出場校のほとんどの方が必要と答えるのではないのでしょうか。必要ないと思う学校は大会にエントリーしないでしょう。社会は常に他者評価です。努力や個性も相対

評価でふるいにかけられます。成績付けや受験と同じです。大会が社会経験の環境なのであれば、努力が必ずしも報われるわけではないこと、でも努力しなければ何も始まらないこと、失意や悔しさを味わい、それをバネに強くなること、勝者に惜しめない拍手を送れるような人間になることも、大会に参加する大きな意義だと思います。

順位付けと教育のジレンマ

目標に向かって頑張ることや達成感を得ることは、教育上とても大切なことです。しかし、大会で入賞しなかったからといって、他のバンドに比べて頑張ったことがなかったという評価が下されたわけはありません。入賞しなければ頑張りが無駄になるわけでもありません。

今回の3大会を通して成熟してきた軽音楽部を鑑みても、やはり音楽や芸術などに点数をつけるナンセンスさと、学校教育の二環としての成果に順位を付けること

のバランスを取る段階に来ているのではないかと感じます。今後、さらに全体のレベルが上がり、大会での審査結果が重要視されていくようになれば、「勝つ」ことへの執着はどんどん高まっていくでしょう。

運動部でさえ、その大会至上主義、勝利至上主義が一部間違った方向へと進んでいるとの指摘がある中で、文化・芸術において過剰にそちらへ傾くようになれば、勝敗にスポーツのような明確なジャッジがな

い分、軽音楽部という部活動の本質は確実に失われていくことになります。

手遅れにならないうちに各方面の専門家が集って、最善策を考えていくべきではないでしょうか。吹奏楽部や合唱部、演劇部、囲碁将棋部、書道部など、長く大会を開催してきた文化部を参考にするのも良いと思います。時間をかけて紆余曲折の中から現在の方式を導き出してきた先輩文化部からも活路は見出せるはずですが、すぐにベストなシステムは作れないと思いますが、一歩一歩軽音楽部に最もマッチする審査方式と賞のあり方を模索していくことが、正しい未来へとつながります。

今後の軽音楽大会の行方

急成長してきた軽音楽部は、その二、三年前から大会も急成長してきました。そのため、各県の高文連軽音楽専門部や軽音楽連盟主催の大会から、民間による様々な大会にいたるまで、審査基準や順位の付け方に統一性はありません。

当協会の大会では、軽音楽部という部活動で育んで欲しい「コミュニケーション力」「チームワーク」「クリエイティブティ」、そして「表現力」を土台に審査基準を作り、実行してきました。しかし、そういった部分以外に軽音楽部の存在意義があるように語られることも目立ち始めている。また、部活動とはかけ離れた視点で評価・審査されていると感じる大会やイベントも増えています。

審査の土台とすべきものは音楽性なのか教育の視点なのか、順位付けは本当に教

育的なのか、本来エンターテインメントであるバンド演奏をどうやって教育の一環として評価し順位を付けるのか、オリジナルとコピーは共存できないのか……。大会に必要論は極論として除外したとしても、立場が変われば意見も変わり、明確な解はまだ見つかっていません。試行錯誤を繰り返していくしか方法はないでしょう。

様々な視点から理想形を模索する

当協会は、軽音楽部の発展と生徒の人間的な成長を応援するために組織され、その主旨の一環として大会を主催しています。しかし、真に有効で有益な大会を開催するためには、生徒たちに最も近い現場の教員・顧問の皆さんをはじめ、インサイド、アウトサイドを問わず、より多くの視点からの意見が必要です。

今後は、日本部活動学会のような教育と部活動の関係を研究されている有識者の方々、音楽大学や専門学校などの音楽指導者の方々、そして、部活動の顧問として高校生の指導にあたられている教員の皆さんの声をヒアリングして、より現状に見合ったルール作りを模索するという方向に動きたいと考えています。有志の先生方には、その節は何とぞご協力のほどよろしくお願いします。



令和6年度 高等学校軽音楽コンテスト

第6回
関東大会
2025 3.25 TUE
10:00-18:30

第9回
近畿北陸大会
2025 3.29 SAT
13:00-18:30

第11回
中部大会
2025 3.30 SUN
13:00-18:30

結果報告はこちら



3大会の出場バンドの演奏映像をYouTubeで公開中！



学校部活動の機能と指導の在り方

玉木博章

日本部活動学会理事
中京大学ほか非常勤講師

玉木博章

愛知県内の中学校・高等学校での勤務を経て、現在は中京大学ほか、県内4大学にて非常勤講師を務める。自身の軽音楽経験や教員経験を踏まえて、部活動研究では稀な文化部活動の主要論者として学会理事を担っている。

2022年12月にスポーツ庁・文化庁から「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が提示され、部活動は2023年度から段階的に地域へ移行しつつある。そして「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ(案)も出され、各自治体では様々な試みが行われ、部活動の在り方について歴史的な転換期を迎えている。ただ、こうした日本全体の変わりゆく部活動の様相を踏まえた時に、この機会に一度立ち止まって軽音楽部の在り方や指導について多角的な視点から考えてみることは有益ではないだろうか。

部活動と教員の仕事との共通点

実は、部活動に関するこうした見直しはこれまでも度々起こっている。そしてその原因として教員の多忙化が挙げられているが、それと共に過剰な練習量や顧問の指導も問題として常態化している。ことに着目したい。もちろんこうした問

題を聞くと運動部を想起しがちであるが、軽音楽部も他人事ではない。

例えば、顧問の中には経験者もいれば非経験者もいる。一般的に経験者であることは部活動の指導上メリットであり、非経験者であることがデメリットとして捉えられやすいが、部活動本来の学校教育的な意義に鑑みた場合、確実にそうとは断言できない。なぜならば、顧問は非経験者であっても、多くは学級経営や生徒指導を行う教員であるからだ。また学校部活動の目的は、あくまで技術向上に拘泥すべきではないからだ。教育課程内において部活動と類似する活動として挙げられる特別活動では、社会参画、人間関係形成、自己実現という3つの目標が掲げられており、結果ではなく経験を重視するプラグマティズムが重視される。つまりある活動に対して「できた」「できていない」の二分法ではなく、その経験をすることで生徒がどのように成長できたか、どこか変わった面があったかを実感することを重視している。したがって、あくまで活動

は人間的な成長の手段に過ぎず、ただ上手くなるだけ、結果を出すだけでは教育的な活動とは形容できない。付言すれば、失敗も含めて学びなのであり、そうした経験をどう人格形成に役立てるかが顧問である教師の手腕の見せ所となる。実際に、歴史的にも文化部活動には、このような小学校のクラブ活動のような体験学習の側面が重視されており、部活動に求められることは単なる技術の伝達ではなく、教育のプロである教員が普段から行っている部分であると明示できる。

こうした前提を踏まえれば、経験者であることが時に生徒にとってデメリットとなり、非経験者であることがメリットにもなり得ることもあろう。批判を恐れずに言えば「生徒のことを思つて」という顧問の意向が、悲しくも生徒の自主性や、有意義な悩みの時間を省いてしまうことになりかねない。返って非経験者である方が、生徒の躓きや迷いを生み出し、生徒が自ら考えて経験する機会を多く確保することができるかもしれない。もち

ろん多くの経験者顧問は、教員であるがため、その教師としての特性を活かし、後者のような教育的指導を行っていることであろう。ただ、部活動が変わりゆく現在では、今一度顧問の役割について再考するべき時ではないだろうか。

部活動の機能と軽音楽部の強み

そもそも部活動には競技性という機能があることは事実ではあるものの、教育性や余暇性そして福祉性という機能も存在している。前述したように単に技術を向上することだけが目的ではなく、参加する中での人間関係形成や学び、そして気分転換や居場所の形成という機能も存在する。今一度部活動の運営に関わる人間として、これらの機能を十分に満たせているか?という点を自戒しなければならぬ。わたくし自身、経験者であるからこそ生徒の意思を見失つてしまいかけたこともあった。部活動は顧問の意思を反映する場所でもないし、まして顧問が



自己満足する場所でもない。そして特に軽音楽部は、性質的にそうではない側面が強く出るべき部活動でもある。

例えば、バンドは方向性の違いで解散することがある。これは他の活動と比較した場合にはかなり稀な特徴であり、ある意味で軽音楽部の教育的強みであるとも看取できる。なぜならば多くの部活動では、あくまでチームや部活動の全体的な意向に合わせるものが求められるため、そこでは個々の意思が反映されづらい。同じ音楽系の部活動でも、吹奏楽部はそ

ちらの部類に入るだろう。ましてチームや部が方向性の違いで解散することはない。仮に、そうした全体的な意向に背いて退部をした場合には、その部員は活動への参加権を剥奪される。しかし、軽音楽部には多くのバンドが乱立し、部員それぞれにニーズに合った活動ができる。そこでは、仲が悪いけれど音楽のために我慢して続けることも必要であるし、思いついて解散することも良い。そしてその後も、部の一定のルールには従いながらも自身のペースに合わせた活動が可能であるし、ペースに合わせた仲間と新たにバンドやユニットを自由に組むこともできる。そしてDTMを駆使すれば、多くのスポーツや吹奏楽のように人数が足りなくても活動することができる。

こうした活動が可能な軽音楽部においては、余暇性や福祉性が担保されやすく、そこを根拠地として教育性を享受することができ。自らの活動形態を決定し、居場所を作り、仲間を集め、それを実現することが、部活動的教育性であると言

えよう。もちろんその過程において技術向上することも教育性に含まれるものの、こうした経験を部活動で享受できた生徒は、その後の人生においても自身で考えて行動することが望める。そして、これは教師だからこそできる指導であると確信している。顧問が心がけるべきは、ティーチングとコーチングのバランスなのだ。だが残念ながら、過剰な練習やコンクール至上主義を一方的に押し付ける顧問の下ではこうした教育性は生じづらい。

もちろん現在の部活動の地域移行は公立中学校を中心としたものであり、高校に活動の本拠地を置く軽音楽部には、まだそれほど関係が無い状況との見方もできる。だが活動時間に関するガイドラインはあくまで努力目標であり、法的拘束力は無いということは事実ではあるものの、教育性の誤認が表面化すれば、軽音楽の未来も危うい。したがって部活動において大切なのは、いかに生徒の意思や学びを喚起し、尊重するかだということを強調したい。そしてそれを実現しやすい部活動の1つが軽音楽部なのだということを、日々熱心に指導に当たって下さっている顧問の方々、そして軽音楽を経験している教師の強みだと誇っていただきたい。公立中学校とは違い、高校に部活動が未だ留め置かれる背景には、部活動が所有する高等教育上での効果がある。そうした点に配慮すれば、盛り上がりつつある高校での軽音楽が今後維持されるためにも、今こそ顧問の先生方が部活動の教育的意義を再考していただくことが欠かせないことがわかる。

「軽音楽」と「軽音楽部」の違いの理解から始まる「軽音楽部の有意義な活動」とは…

部活動で学んだことが 社会で活かせる軽音楽部

辻 伸介

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
副理事長

軽音楽部は、現在全国で入部者が増えている注目度の高い部活動です。活動内容は学校によって様々ですが、その人気は単に近年の流行というわけではなく、部活動として有意義なものであるという理解が広まっているからだと思えます。しかし、未だにステレオタイプなイメージからの誤解も多く、その効力が十分に活かされなくなってしまう危うさもあります。軽音楽部のポテンシャルを最大限に発揮させるためには、まず既存の音楽部との違いと、部活動としてのメリットを理解していく必要があります。

「軽音楽」「軽音楽部」とは

軽音楽とは、クラシック音楽に対してつけられた呼称です。「軽」の字は、気軽に親しめるという意味も含まれ、20世紀にアメリカのブルースという音楽から派生した大衆音楽であるジャズ、ロック全般を指します。中でも、ロックは現代の流行音楽という意味で「ポピュラーミュージック（ポップス）」と呼ばれることもあります。

すなわち、洋楽も邦楽も、ヘヴィメタルもアイドル曲もテクノもパンクも、現在世の中に溢れているクラシックと各国の民族音楽以外は、ほぼ軽音楽といえるわけです。お気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、吹奏楽部は「スウィングジャズ」を土台とした部活動なので、実は軽音楽部なのです。その証拠にポップスも多く演奏されます。しかし、吹奏楽はクラシックのオーケストラスタイルで編成されているため、いわゆる軽音楽部とは決定的に違います。その違いは重要なポイントでもあります。

ちなみに、合唱部も同様です。大人数の編成スタイルはクラシック的ですが、レパートリーはほぼポップスなので、音楽のくくりでいえば合唱部も軽音楽部と言えます。一般的に、クラシック音楽を部活動として行なっているのは「管弦楽部」です。管弦楽部がある学校は全体のわずか数パーセントです。

では、吹奏楽部や合唱部と、軽音楽部の違いはどこでしょうか。それはチー

ム編成です。軽音楽部は「バンド」という少人数編成のチームに分かれて活動します。つまり、部全体で1チームということでもなければ、レギュラーや補欠もありません。バンドの組み方は学校ごとに違いはありますが、この「バンドごと」に活動する」というスタイルが、軽音楽部の大きな特色です。

社会人に求められるスキルを育む

しかし、軽音楽部はバンドが集まってできているのではなく、部活動の中でバンドに分かれて活動していくものです。よく誤解されるのですが、軽音楽部と部外の、いわゆる「高校生バンド」とは似て非なるものです。もちろん、高校生がバンド単位で活動するわけなので「高校生バンド」に変わりありませんが、軽音楽部は部活動なので、教育の一環として存在し、部活動という枠の中で音楽を通して成長することが目的です。部外で活動している高校生バンドとは、そもそも

目指すものや活動の目的が違います。

軽音楽を通じた成長とは「自分たちで何かを作り上げること」です。組織の中で小人数のチームに分かれ、プロジェクトを成功させるために試行錯誤を繰り返す。メンバーはそれぞれの個性とスキルを活かしながら、一致団結して良い結果へと進んでいく…。これは、企業で働く場合でも、ちよつとした共同作業をする場合でも同様の、社会の一員として身につけるべきスキルです。

そしてそれは、メンバー同士助け合いながら自分たちで様々な問題を解決して演奏をブラッシュアップしていくこと、それぞれの個性を活かしつつ、全体を考えて責任ある行動をする…といった、まさにバンド活動で行うことと同じです。軽音楽、バンドは、社会人として求められるスキルを育ててくれるものなのです。もちろん、それは部外の高校生バンドにもいえることですが、バンド活動を教育や人間形成に活用しようと考えているのが軽音楽部という部活動です。

中でも、「自分たちで」という部分がポイントで、現代は昭和時代の上位下達な社会ではなく、個性と自主性が重要視される時代です。グローバルな社会で活躍する人間とは、自分の意見が言えて、アイデアを持ち、他者と協調しながら主張と受諾ができ、新しいものを創造していく力を持っていることです。それは、軽音楽部の中で生徒たちが日々行なっていることそのものです。

ハイブリッドで新しい部活動

軽音楽部が他の部活動と大きく違う点

は、「コミュニケーション」力を育みながら「チームワーク」と「クリエイティビティ」の両方を学べることです。運動部には、クリエイティビティというキーワードは基本的にありません。文化部では、チームで何かを作り出すというより、個人での創作活動がメインです。吹奏楽部や合唱部では、チームとしての連帯感や協調性は育まれますが、創作性に関しては決して高いとはいえません。バンドに分かれて活動する軽音楽部では、バンドごとに監督やコンダクターがいるわけではないため、そこに自主性と共同作業を伴う創作性が生まれます。

技術や知識など、個人スキルの上達ではなく自分で頑張るしかありませんが、それはどの部活動でも同じです。軽音楽部ではさらに、部員同士でバンドを組み、自らの演奏を仕上げていきます。良いアンサンブルにしていくなめには、メンバー間のコミュニケーションと方向性を共有したチームワークが必要です。部活動の中で、生徒たちは多様な考えがあることや、意見やアイデアをわかりやすく伝える難しさ、他者の主張に耳を貸す傾聴の心などを学んでいきます。

また、すべての学校で行なわれているわけではありませんが、オリジナル楽曲を創作しているバンドが多いことも、他の音楽系部活動には見られない特徴です。複数人でアイデアを出し合いながら無から有を生む行為は、創作性を育む貴重な体験となるだけではなく、今までの部活動にはなかった新たな「自己表現」の場として機能します。そして、演奏会や大会といったライブが活動や学びの節目となり、自己評価と他者評価によって次のステップへと導きます。

軽音楽部は、運動部と文化部双方の特徴を持つハイブリッドな部活動で、現代的で今までになかった新しい要素と可能性を秘めているのです。

部活動はLife Skills MEX

基礎的な楽器演奏をマスターし、機材の使い方を把握するまでには時間がかかります。部活動で軽音楽を行う最大のメリットは、様々な指導やアドバイスを先

輩たちから受けられることです。他力本願ではいけません。練習方法からトラブル対処のアドバイスまで、悩みごとができて周りに頼れる人がいることは部活動であることの強みです。

また、軽音楽部では文化祭、新歓&卒業ライブ、校内イベント、他校との合同演奏会、各コンテストや大会、地域のお祭りなど、様々なライブの機会があります。近年は、各県の高文連軽音楽専門部や軽音楽連盟主催のものから、当協会のような民間が主催するものまで、様々な大会やコンテストが開催されています。演奏を発表する機会が多いことも部活動の大きなメリットです。

自校で合同演奏会を主催することができれば、バンド活動以上の大きな社会勉強になります。音響、照明、アテンド、舞台設営、広報、スケジュール管理…など、部員それぞれが役割を担って1つのイベントを制作することは、共同作業の楽しさと困難さ、ゲストに対する心配りなどを学ぶことができます。どれも、やはり社会人として大切なスキルです。

他にも、音楽学校などから講師を招いて各種講習会やバンドクリニックなどを行なったり、部としてレコーディングを行なったり、長期休暇には合宿を行なったり…と、個人や部外の高校生バンドでは開催が難しいことも部活動では可能です。確かに、部活動となれば窮屈に感じること多いかもしれませんが、部活動だからこそ、安全に音楽活動ができ、そこから様々なことを学んでいくことができるのだといえます。

意思伝達 コミュニケーション

バンドはメンバー同士で様々なことを相談して活動していきます。自分の意見を伝える力、相手の意見を聞く力が育ちます



連帯意識／協働

チームワーク

バンドは共同作業です。少人数でやり遂げる連帯感やチームの一員としての責任感が身につく、達成感による成長があります



創意工夫／創造力

クリエイティビティ

軽音楽部ではオリジナル楽曲を創作したり、既存曲を自分たちなりの演奏にするため、自ら創り出す力が育まれます



明日の軽音楽部へ提言

モニター環境の充実に 予算を注ぐべき理由

辻 伸介

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
副理事長

十年ひと昔……。特に、電気・電子機材である音楽関係の楽器や備品は、日進月歩で進化しています。近年、文部科学省もSTEAM教育を推進する中で、今後学校の設備も進化していくでしょう。ポピュラーミュージックを土台とした部活動である軽音楽部だからこそ、時代に先駆け活動が望まれます。これからの軽音楽部では、個人技術の向上、バンドアンサンブルの向上、ライブでのより良いプレイのために、「モニター環境」の充実に予算を注ぐべきだと考えます。

モニターが活動の手助けに

軽音楽部は部活動です。それは、取り組み方だけではなく、楽器や機材といった物理的な「道具」に関してもいえることです。部活動として最適な楽器や機材を整えることで、部員の最適な活動の手助けとなります。

モニター環境の充実とは、合奏時の自分や他パートの音をよく聴こえるように

すること、そして、ヘッドフォンによる音の「モニター」をもっと重視することを指します。バンド練習時には、自分の音や他パートの音が聴こえにくいことから音量が上がり、結果的にどんどん音が埋もれていく……という現象が起こりがちです。各々の音がよく聴こえるようになると、騒音問題の減少だけではなく、修正点に気づきやすくなってアンサンブルが向上します。さらに、ライブ時には素早く演奏しやすいモニター調整を作れることが良いパフォーマンスの土台となります。普段の練習時から意識していることが大切です。

また、部活動中の個人練習も、他の人の音が妨げになることがあります。ヘッドフォンでの個人練習を推奨していくことで、お互いの干渉を回避でき、練習場所の確保もクリアされます。

機材選びのキーワードはデジタル

モニター環境を充実させるためのキ

明日の軽音楽部を設計する

部の機材は、未来にわたって使用されていきます。ガラパゴス化してしまった機材では生徒の期待に応えることも難しくなっていくます。引き継がれてゆく機材への投資という考え方に基づく部費の

あり方を検討することも、部活動の活性化に大きく関わっていきます。

進化してゆく軽音楽や軽音楽部という部活動への対応は、明日の軽音楽部を設計する上で、今後の早急な課題となっていくでしょう。ご質問、ご相談などがあれば、お気軽に当協会へご連絡ください。

デジタルミキサー

マイクや楽器から出力された音を集めてまとめる機材が「ミキサー」です。入力できる数や音色を調整する装置の多さなどによって大きさや値段もまちまちですが、軽音楽部には普段の練習場だけではなく演奏会会場でも必須な機材です。練習時にはミキサーにボーカルマイク、キーボード、アコースティックギターなどをつなぎますが、ライブ会場ではドラムやギターアンプなども集音します。

ミキサーには、音声信号処理の違いによって「アナログミキサー」と「デジタルミキサー」があります。近年急速に浸透しているデジタルミキサーは、アナログミキサーと比べるとコスト高で重量が重いという点もありますが、利便性、拡張性、ノイズの少なさ、多機能なのに小型……といったメリットがあります。本来は別で購入して接続しなければならぬコンプレッサーやイコライザー、エフェクターといった複数のプロセッサが内蔵されていることを考慮すれば、一概に



ZOOM LIVETRAK L-8 Live Mixer/Recorder
市場価格：¥50,800（税込）

高価ともいえないと思います。

中でも最も利便な点は、バンドごと、メンバーごとにフェーダーの位置、イコライザー、エフェクト、モニター環境などをデータとして保存しておける「シー

ワードは「デジタル」です。ここ数十年で世の中がデジタル化、IT化、IoT化していくことに合わせて楽器や機材も進化しています。アナログの良さを否定するわけではありませんが、今後の軽音楽部に有効な……と考えた時には、トータルのコスト面、大きさ、多機能性、拡張性などから、デジタルというキーワードを念頭に置いた機材導入が有効です。

音楽経験者や世代間にギャップもあるかもしれませんが、現代のデジタル加工された音楽や、デジタル機器の扱いに慣れ親しんでいる高校生たちにとっては、より身近であるともいえます。デジタル化によってモニター環境を向上させることで、個人練習やバンド練習など活動はガラリと変わっていきます。

また、デジタル化の恩恵はそれだけではなくありません。かつては高価な機材が整った専門家でなければ行えなかったDTMも近年手軽に行えるようになり、今ではすっかり若者たちの中に浸透しています。数年前から、米津玄師、Ado、YOASOBI

ンメモリ」機能があることです。リハール（サウンドチェック）で調整したミキサーの設定を一瞬で再現（リコール機能）できるので、バンド転換の設定変更がスムーズ行えます。部員やバンド数が増えてくると大いに助かる実用的な機能でしょう。さらに、ステージボックスを使用すれば、ステージ上の音声をミキサーに効率的に送り、ケーブルの取り回しを簡略化することができます。デジタルミキサーとの連携によって、より効率的な音響システム構築が可能です。

また、パソコンやスマートフォン、タブレットなどの外部機器と接続すれば、客席やステージ上からでも音量や音色の調整ができるようになります。こういった部分はまさにデジタルだからこそその恩恵といえるでしょう。アナログミキサーの直感的な操作からすると少し複雑に思えるかもしれませんが、それらの機能を駆使するために電気系統（電気方面）の知識を得ることも重要です。

モニタースピーカー

ミキサーで整えた音を出力するための「スピーカー」には、客席に向けて音を出すメインの「PAスピーカー」と、演者の足元に置く「モニタースピーカー」があります。モニタースピーカーは、普段の練習では主にボーカリストが自分の声を聴くために使いますが、ライブや大会などの広いステージではボーカル以外のパートも使用します。

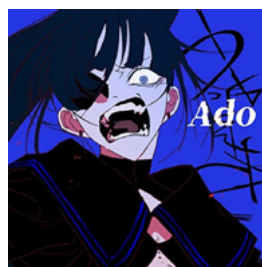


BEHRINGER B108D EUROLIVE 市場価格：¥29,800（税込）

モニタースピーカーを上手に活用するには慣れが必要です。いざ本番でベストなパフォーマンスをするためにも、普段からすべてのパートにモニタースピーカーを用意することが理想です。バンド練習時にモニターの調整も「練習」しておくと、本番前のサウンドチェックで良い環境が素早く自分で作れるようになります。特にボーカリストには必須です。



▲音楽ユニットYOASOBIの世界的大ヒット「アイドル」



▲ボカロPであるsyudou 作詞作曲、Ado 歌唱「うっせえわ」

といったネット出身のアーティストたちに憧れる高校生も多くなっています。さらには、デジタル化によるデータの保存、機器の縮小とセッティングの簡素化は、レコーディングや配信などへの挑戦、IT機器の有効利用などを推進させることが可能となり、軽音楽部としての活動に新たな展開を望むことができます。

パワードスピーカー

音響システムで忘れてはならないのが、音を増幅させる「パワーアンプ」の存在です。物理的にパワーアンプをミキサーとスピーカーの間につなぐこともできますが、近年の軽音楽部ではミキサーかスピーカーにパワーアンプが内蔵された機種を使うケースが増えています。

お勧めは、パワーアンプ内蔵の「パワードスピーカー」の使用です。ミキサーとの接続がシンプルで、専用アプリを介してスマートフォンやタブレットで音量やエフェクトのバランスを調整することもできます。また、マイクなどを直接スピーカーにつないだり、Bluetoothスピーカーとしても使えるといった利便性や拡張性があります。

ミキサーにもパワーアンプが本体に内蔵されている「パワードミキサー」タイプがありますが、パワードスピーカーを使用していれば必要ありません。

デジタルドラム

現在の音楽シーンでは、ドラムセットは「アコースティックドラム」が主流ですが、軽音楽部という枠の中では「デジタルドラム（電子ドラム）」も大きく活躍します。

最も大きなメリットは、音量を抑えられることです。軽音楽部の音量（騒音）問題はアコースティック打楽器であるド



Roland V-Drum TD-07DMK
市場価格 ¥89,980（税込）

ラムに起因しています。ドラムの総音量をミキサーで調整できることは、バンド練習でもライブでも有益です。特に、ライブ会場でのセッティングは出力がラインだけで完結するので、アコースティックドラムの時のように各楽器の音を拾うマイクやスタンド、ケーブルが必要不再是ります。

また、個人練習においてもヘッドフォンで音を聴けば、消音されるだけではなく、エアーでメトロノームや音源を聴くよりもはるかに的確なトレーニングが行えます。加えて、複数のデジタルドラムを同時に演奏しても音が漏れないため、同じ練習部屋で複数のドラマーがそれぞれ練習をすることができるようになり

スマートギター



NEBULA Smart Guitar
市場価格 ¥77,000（税込）

ジャズやロックといった軽音楽の隆盛を後押しし、ポピュラーミュージックを世界のエンターテイメントへと押し上げた要因の1つに、ギターという楽器のエレクトロニック化があります。

アコースティックギターにピックアップアンプマイクを搭載して、弦の振動を電気化することによって音を増幅、調整して出力するエレキギターやエレキベースは、1970年代以降の「アクティブベース」や、1990年代に人気を博した「アクティブピックアップ」搭載のギターの登場など、時代とともに進化を続けています。近年では、デジタル制御のアクティブピックアップが搭載されたギターも注目されるなど、サウンドメイクに関しては積極的（アクティブ）にIT化、デジタル化が進んでいます。

本体にヘッドフォン端子が付いていたリ、スピーカーが内蔵されている「スマートギター」は、いつでもどこでも演奏可

能で、練習場所やセッティングの大変さから解放されます。また、専用アプリとの連携で各種エフェクター、チューナー、メトロノーム、リズムマシンが本体だけで再生可能で、USB端子によりパソコンとの同期もスムーズに行えます。まさに、時代の最先端をいく「今」のギターといえます。従来のエレキギターのイメージが強いとなかなか受け入れにくくもしませんが、エレキギター自体が登場した時も一部のミュージシャンを除いて印象はあまり良くなかったといえます。

しかし、軽音楽部という部活動の中では、スキマ時間の個人練習、本体だけの音作り、DTMにと様々に活躍してくれます。吹奏楽部のように、新入生用、個人練習用のための部の備品として数台揃えておくというスタイルも、今後一般化していくかもしれません。

マルチエフェクター

近年では、ギターやベースの音色は本体とアンプで作リ、その音をさらに「コンパクトエフェクター」などで加工するよりも、「マルチエフェクター」で基本の音作りを行うことが主流になりつつあります。

マルチエフェクターには、デジタル化された数十から数百のエフェクトサウンドが1台に搭載されているだけではなく、アンプシミュレーター、メトロノーム、ドラムマシン、USB端子、オーディオ・インターフェイス、ヘッドフォン端子な



BOSS GT-1 Guitar Effects Processor
市場価格：¥21,800（税込）



BOSS GT-1B Bass Effects Processor
市場価格：¥26,400（税込）

デジタルアンプ

部の備品を一気にオールデジタル化することは、予算的にも難しいと思います。買い替えのタイミングで徐々にををお勧めしますが、まず、ギターアンプ、ベースアンプの差し替えは最重要の検討事項です。

アンプは、いくつかの系統でタイプを分けることができますが、真空管を使つた「チューブアンプ」や、アンプ部とスピーカー部が分かれている「スタックタイプ」など、スピーカーが何発も搭載されている大型の機種は、あまり現代の軽音楽部に相応しいとはいえません。マルチエフェクターやスマートギターを使用するのであれば、アナログですが「コンボタイプ」のトランジスタを使つた「ソリッドステートアンプ」で十分です。

マルチエフェクターなどがない場合は、楽器から入力された信号をデジタル化して増幅する「デジタルアンプ」がお勧めです。コンパクトで丈夫、比較的リーズナブル、消費電力が少ないなどのメリットがあります。アンプシミュレーターやエフェクターの内蔵、ヘッドフォン端子やUSB端子の搭載によつて、同じ効果が期待で



FENDER RUMBLE STUDIO 40
市場価格 ¥47,190（税込）



Roland JC-120 市場価格 ¥135,800（税込）

きます。デジタルアンプは、他にもバンド練習時やライブ時のモニターバランスに大きな効果があります。大型のアンプではどうしても音が大きくなり、各パートがよく聴こえるバランスの良い環境を作ることとに苦慮します。

スピーカー搭載で
面倒な準備をスキップ！



NEBULAの特長
1/7

本体には高出力スピーカーを搭載しており、ケーブルやアンプの準備をせずに、すぐに演奏を始めることができます。ノブ操作で内蔵プリセットの切り替えもスムーズに行え、多彩な音色で演奏をお楽しみいただけます。夜間など音量を抑えたい場面では、イヤホン接続により静かに演奏することも可能です。

ヘッドフォンをつないで
夜間でも演奏！



NEBULAの特長
2/7

夜間などスピーカーで大きな音が出せない環境でも、イヤホンジャックを活用することで静かに演奏を楽しめます。イヤホン使用時もエフェクトが適用され、プリセットの切り替えにより多彩な音色を体感いただけます。音量調整は本体のボリュームノブ、または専用アプリから行うことができます。

豊富なエフェクト&
カスタマイズ機能！



NEBULAの特長
3/7

本体には、基本となる複数のエフェクトを標準搭載。さらに、専用アプリ「Natasha Guitars」と連携することで、エフェクトの細かな調整やプリセットの命名・クラウド保存が可能です。プリセットごとにトーンノブのカラーも変更できるため、視認性が高まり操作もスムーズ。より直感的に使いこなせます。

豊富な機能



NEBULAの特長
4/7

専用アプリと組み合わせることで、チューナーやメトロノーム機能も活用できます。本体から操作できるリズムマシンやルーパー機能も、アプリ上ではさらに細やかなコントロールが可能。自動スタックによるオーバーダブやソロセッションなど、表現の幅を広げ、あなたのクリエイティビティを刺激します。

充電“だけ”ではない
USB-Cポートの機能



NEBULAの特長
5/7

ここ意外とすごいんです

本体にはイヤホンジャックやフォンジャックに加え、USB-Cポートも搭載。このUSB-Cポートは充電用途にとどまらず、USB OTGに対応しており、PCやスマートフォンと接続することで、オーディオインターフェイスとしても活用できます。自宅録音が、より手軽に実現します。

カーボン素材
軽くて丈夫な



NEBULAの特長
6/7

ボディとネックには、軽量で高い耐久性を誇るカーボンファイバー素材を採用。湿度や温度変化の激しい日本の気候でも、木材に比べネックの反りが起こりにくく、安定した状態を長く保てます。軽量ボディにより、長時間の演奏でも疲れにくく、快適な演奏性を実現しています。

使いやすい！
高機能ギグバッグ



NEBULAの特長
7/7

付属のロゴ入りギグバッグは、厚手でクッション性に優れ、ユーザー目線に立った設計です。エンドピンやヘッド、ブリッジ部分は補強され、持ち運び時の安心です。収納部分も大きく開き、スコアやシールド、ノートPCなどもすっきり収まり、使いやすさと収納力を両立。プレイヤーに寄り添う実用的な仕様です。

4色の
カラーバリエーション



パールホワイト、ブラック、ライトブルー、イエロー

仕様

ボディ：	カーボンファイバー
ピックアップ：	マグネティック・ピックアップ (SSH)
スピーカー：	5W
バッテリー：	100時間駆動可能 (6時間充電)
スケール：	648mm
フレット数：	22フレット
カラー：	パールホワイト、ブラック、ライトブルー、イエロー
付属品：	ギグバッグ、ギタークロス、USB Type-Cケーブル、Lightning変換コネクタ、USB-A変換コネクタ、レンチ、日本語マニュアル、製品保証書

(価格：77,000円(税込))

SMART GUITAR
NEBULAの7ポイント+2

スマートギターNEBULAは、ICT環境やSTEAM教育の推進が進む中、軽音楽部の活動に新たな学びの可能性をもたらします。本特集は2号構成でお届けし、今月号ではNEBULAの基本機能と、それが高校教育に与える意義について紹介します。次号では、アプリ連携による拡張機能や具体的な活用事例を詳しく取り上げます。

スマートギターと高校教育の関連

NEBULAは、アンプやエフェクター、スピーカーなど、演奏に必要な機材を一台にまとめた「スマートギター」です。電源を入れればすぐに音が鳴る手軽さから、練習場所を選ばず、放課後の活動や個人練習など、限られた時間でも有効に活用できます。部室に1本あるだけで、経験の浅い生徒が気軽に触れるきっかけにもなり、部活動の入口を広げる役割も果たしてくれそうです。

また、複数の機材を揃える必要がない「オールインワン仕様」のため、初期投資を抑えられる点も大きな特長です。

私は教育の専門家ではありませんが、GIGAスクール構想や新学習指導要領をはじめとするICT環境の整備が進むなかで、こうしたスマート機材が、生徒の創作意欲や表現の幅を広げるツールとして、部活動の現場にも自然に入り込んでいけるのではないかと感じています。

NEBULAには、大きく7つの特長があります。

まず、スピーカーとエフェクトを本体に内蔵し、シールドやアンプなどの面倒な準備無しですぐに演奏を開始できます。イヤホンジャックを搭載しているため、夜間や音を出しづらい環境でも練習が捗ります。スピーカー／イヤホン／アン

プと、状況に応じて柔軟に使い分けが可能です。

さらに専用アプリと連携することで、細かなカスタマイズやプリセット管理が可能となります。幅広いサウンドメイクがこれ一台で完結するため、初心者もエフェクターを買い揃える必要もなく、コストパフォーマンスにも優れています。

また、チューナー・メトロノーム・リズムマシン・ルーパーなど、演奏を支える機能も充実し、初心者でも安心して演奏を始められます。

さらに、USB-Cポートは充電だけでなくオーディオ・インターフェイスとしても使用可能で、スマホやパソコンと接続すれば「GarageBand」などのDAWを使っ

SMART GUITAR
NEBULA
Revolution to the Future

前編

ヘッドフォンで演奏が楽しめる
軽音楽部にマッチしたギター



軽音楽部の夏が始まる！



第7回
高等学校軽音楽コンテスト
関東大会
2025 **7.31** THU 入場無料
12:30-18:30
会場：青葉公会堂



第12回
高等学校軽音楽コンテスト
中部大会
2025 **7.29** TUE 入場無料
12:30-18:30
会場：名古屋文理大学文化フォーラム



第10回
高等学校軽音楽コンテスト
関西大会
2025 **7.27** SUN 入場無料
10:00-17:00
会場：舞鶴市総合文化会館



第2回
高等学校軽音楽文化祭
国際大会
2025 **8.21** THU 入場無料
12:30-18:30
会場：舞鶴市総合文化会館

夏休み！自由研究／探究学習
音学教室
会場：舞鶴市総合文化会館
参加無料
8.20 WED
13:00-14:30



白峰・桑島 2025
真夏の音楽祭
民謡（輪踊り）・和太鼓・高校軽音楽
2025 **8.16** SAT 入場無料
11:00-18:00
8.19 TUE 入場無料
11:00-18:00
会場：白峰・林西寺



第3回
全国高等学校軽音楽部
**オリジナルソング
グランプリ 2025**
| バンド | 弾き語り | DTM |
| GarageBand | インスト（歌なし） |

軽音楽部での活用のヒント

NEBULAは軽音楽部の活動において、演奏面だけでなく、生徒同士の交流や創作意欲を促すツールとなります。活用のヒントは大きく3つあります。

ト以外が遊びで弾いてみたり、音楽的な交流が生まれます。

次に、「どこでも弾ける」という体験です。スピーカーやイヤフォンジャック、バッテリー内蔵による可搬性が自由な発想や自発性を後押しします。

最後に、「簡単だけど奥が深い」という点です。初心者でも使いやすく、それでいて音作りの奥深さも備えており、生

徒の探究心を刺激します。

そもそもバンド活動そのものが「課題解決型の学び」です。議論を重ね、理想を追求するその過程は、主体性や対話力を育む機会でもあります。NEBULAはこうした活動を支え、生徒のラーニングアジリティの育成に繋がります。

文・渡邊寛大



丈夫で使いやすい高機能なギグバック

た録音も手軽に行えます。これにより、創作活動のハードルが下がり、生徒の意欲を後押しします。

本体はネックとボディにカーボン素材を採用し、軽量で高耐久です。日本の気候変化にも強く、ネックの反りが起こりにくいため、メンテナンスも楽です。

最後に、付属のギグバッグはクッション性が高く、エンドピンやヘッドなどの破れやすい部分も丁寧に補強。シールドやスコアも収納できる設計で、日々の部活動にも安心して使用できます。

カラーバリエーション



ホワイト ブラック ライトブルー イエロー

SMART GUITAR
NEBULA
Revolution to the Future

り添った音作りが実現します。また、ルーバーやリズムマシンといった拡張機能により、演奏や作曲の幅も広がります。STEAM教育との親和性や、実践例も取り上げ、高校の軽音楽部における新しい学びの姿を探ります。



nebulaguitar.jp

次号では、NEBULAの真価とも言える「専用アプリ連携機能」について詳しくご紹介します。Bluetooth接続により、スマートフォン上でエフェクトの編集やプリセットの管理が可能となり、生徒一人ひとりの創造力に寄

仕様
ボディ：カーボンファイバー
ピックアップ：マグネティック・ピックアップ（SSH）
ピックアップセレクター：5段階
スピーカー：5W
バッテリー：10時間駆動可能（6時間充電）
ペグ：オリジナル密閉型ペグ
ネック：カーボンファイバー
ネックシェイプ：Cシェイプ
スケール：648mm
フレット数：22フレット
付属品：ギグバッグ、ギタークロス、USBType-Cケーブル、Lightning変換コネクタ、USB-A変換コネクタ、ランチ、日本語マニュアル、製品保証書

価格：77,000円（税込）



昭和音楽大学 | 昭和音楽大学短期大学部

ポップ&ロックミュージックコース / ジャズコース

アンサンブルセミナー

本学教員がアドバイス!!
ジャムセッションを楽しもう。

【個人またはバンド
単位で参加可能】

6/22 Sun 9/20 Sat 他

オープンキャンパス

昭和音大を
体感してみよう!

6/22 Sun 7/6 Sun 8/2 Sat・3 Sun 他

●コース説明 ●模擬授業 ●キャンパス見学 他

受験講習会

個人レッスンでプロの技を身につけよう!

6/22 Sun 8/30 Sat 9/20 Sat 他

●実技個人レッスン ●ポピュラー音楽理論 他

夏期講習会

受験生受診率No.1!!
夏休みにレベルアップ

8/1 Fri ~ 4 Mon

●実技個人レッスン
●ポピュラー音楽理論
●DTM講座 他

受験対策スクール
"パスウェイズ"
Pathways

無料体験レッスン受付中!

音大受験生に対し、
本学の講師陣が継続的に
個人レッスンを行います。
オンラインも可能です。

[対象: 高校生(既卒者含む)、中学生]

▶ 日程や内容は変更となる場合がありますので、詳細や最新情報はウェブサイトをご覧ください。◀



お申込・
詳細は
ウェブで!

お問い合わせ / 入試広報室

0120-86-6606

nyushi@tosei-showa-music.ac.jp

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

オンライン個別相談、実施中! 平日 11:00~18:00

本学教員・進学アドバイザーが質問にお答えします。(1回30分程度)
◎希望日の3日前までにお申込ください。

★タイガー大越客員教授は年に数回、特別レッスンを行う予定です。

教員紹介

(2025年5月現在)



軽音協ニュース

SMART GUITAR
NEBULA
Revolution to the Future

ヘッドフォンで
演奏が楽しめる
軽音楽部に
マッチしたギター

nebula guitar.jp

定価: 77,000 円 (税込)
高性能ギグバッグ付属

- ### 7つのポイント
- スピーカー搭載で、面倒な準備をスキップ
 - ヘッドフォンをつなげば、夜間の演奏も◎
 - 豊富なエフェクト群を自由にカスタマイズ
 - 演奏をサポートしてくれる様々な便利機能
 - USB Type-C 対応でギターの録音が身近に
 - 高温多湿に強く、軽量なカーボン材を使用
 - 丈夫で使いやすい高性能なギグバッグ付属



次号予告 VOL.86 (6/23 発行予定)

- ・軽音楽コンテストの教育的意義を考える
- ・部活動における生徒への指導とは…
- ・中教審の方針に倣った軽音楽部活動に関して
- ・軽音楽部の未来を描くのはデジタル楽器機材

編集後記

新緑が眩しいですね。欧米に合わせた10月年度変わり
説も悪くないですが、日本は新芽が芽吹き、桜をはじめ
色とりどりの花が咲き誇る春の方が年度のスタートらし
い気がします。みんな、百花繚乱しよう! (辻 伸介)

春の大会が終わったのも束の間、あっという間に夏の軽
音楽大会やイベントのシーズンが近づいてきました。今
年も大会はもちろん、技術講習会や合同演奏会も積極的
に開催しますので、ぜひご参加ください。(三谷暢之)

GWが終わり、3年生が引退した部活もあるかと思いま
す。すぐに受験モードだ! と切り替えるのは簡単ではあ
りませんが、僕も高校生の頃は共通テスト前日まで必死
に勉強していたことを思い出します… (渡邊寛大)

エンタメ&クリエイティブの専門学校



VISUAL ARTS

東京 / 名古屋 / 大阪 / 福岡

ビジュアルアーツ・アカデミー

ACADEMY

Akademeia 21st Century



ミュージシャン
声優・俳優・タレント
ダンス・ダンスボーカル
ネットタレント・インフルエンサー
映像クリエイター (3DCG・VFX)
テレビ放送・映画スタッフ
コンサート・舞台スタッフ
レコーディングエンジニア
サウンドクリエイター
映像音響 (MAエンジニア)
写真・デザイン
マスコミ出版
芸能マネージャー
特殊メイク

※地区によって教育分野が異なります

大学も専門学校も超える新たな学びの場



21世紀アカデメイア
Akademeia 21st Century

専門学校 東京ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 東京ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 大阪ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 ビジュアルアーツ専門学校より校名変更)

専門学校 名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 名古屋ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 福岡ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 九州ビジュアルアーツより校名変更)



芸能
マネージャー

100%輝けるように サポートします

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は芸能マネージャーの仕事について、専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー／芸能スタッフ・マネージャーコースの富永有華先生に伺いました。

— 芸能マネージャーの仕事全般について教えてください

富永: マネージャーの仕事は「○○ができれば、マネージャーになれる」というようなものではなく、担当になったアーティストや俳優、声優などが100%の力を出して輝けるようにサポートをする仕事です。

わかりやすい例を挙げるとすると、「お母さん」みたいな感じでしょうか。お母さんは家事や育児をはじめ、習い事の送り迎えをしたり、「この子には○○が向いているんじゃないかな…」と考えて、あれこれとやらせてみたり、悩んでいる様子があったら話を聞いたり、励ましてあげるなど、その子の「応援団」のような存在だと思います。それと同じで、担当になったアーティストが輝けるように様々なサポートをするのが、マネージャーとしての大きな仕事です。

実際の仕事については、現場への送り迎えをはじめ、そのアーティストが売れる（輝ける）ように、どんな展開やプロモーションをすれば良いのか、というプロデュースやアドバイスをすることもマネージャーの仕事の一部です。他にも、事前の準備や先方と連絡を取り合うなどの事務作業もあります。お仕事そのものを取ってくる「営業全般」もマネージャーの仕事に含まれる場合もあり、担当するのがアーティストなのか、俳優なのか、声優なのかなどによって、仕事の詳細は違ってきますが、大まかに挙げると、こんな感じです。

— 入学前に、ある程度の知識は必要ですか。高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

富永: どの仕事にも当てはまると思うのですが、コミュニケーションがとても大切なので、同年代だけでなく、年上や年下の人たちとも積極的

に会話をしたいと思っています。学校で認められているのであれば、アルバイトもして欲しいですね。ファストフード店や飲食店などで接客を伴うアルバイトに就けると、自然とコミュニケーションのスキルを磨けると思います。専門学校の授業でも「5分間、フリートークをしてください!」というのをよくやるのですが、数分後にはチーン…となってしまうことが多いので、相手と会話のキャッチボールがうまく行えると良いですね。

— お仕事の楽しいところや、やりがいを感じる瞬間を教えてください

富永: 楽しいと感じる瞬間はたくさんあるのですが、わかりやすい部分では、担当しているアーティストの知名度が向上したり、楽曲が大ヒットしたり、MVなどがバズったりすると嬉しいです。でも、なかなか起こるようなことではないので、単にアーティストと信頼関係を築けた時にやりがいを感じます。最初から信頼関係は築けないものですし、いろいろな話をしたり、一緒に考えたり、相談していくうちに親子や兄弟じゃないですが、それに近い関係になれたと感じた時に、この仕事のやっていて良かったと思います。

— 一方で、大変な点はどんなところが挙げられますか?

富永: 「○○をやれば、絶対にOK!」という算数のような「正解がない」世界なので、トライ＆エラーの繰り返しです。うまくいかないことや期待はすれになることも多々あるので、そのことで落ち込んでしまうのが大変に感じる部分かもしれません。また、サラリーマンのような規則的な就業時間があるわけではなく、朝が早かったり、夜遅くまで仕事があることも少な

くありません。イベントやプロジェクトによっては休みがなかなか取れないこともあるので、その点は事前にしっかりと理解しておく必要があると思います。

— この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか。3つほど教えてください

富永: 1つ目は、時間管理ができることです。いろいろな現場がありますが、その日のアーティストのスケジュールをすべて把握しつつ、イレギュラーなことにも対応しなくてはならないので、時間を意識できることが大切です。

2つ目は、イメージや想像する力です。「このアーティストは何が得意で、どの部分が苦手な…」というのをしっかりと理解して、「この分野を伸ばしてあげたら良いのかな…」という感じで想像し、その後の展開を考えられると良いと思います。いろいろなアイデアを膨らませたり、具体的な形にできる力があると良いですね。

3つ目は、信頼感です。担当するアーティストとの信頼関係は一朝一夕で出来上がるものではありません。例えば、質問にはすぐに回答するなどのレスポンスを速くしたり、こまめな連絡を心がけるなどの積み重ねなのですが、「この人なら、ちゃんと対応してくれる」というような安心感を与えることが大切だと思います。



▲アーティストの物販（グッズ）の展開も企画します